

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)すまい大和市工場新築工事	階数	地上2F
建設地	大和市下草柳字九番耕地1162番1	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	平均居住人員	20~25人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月中旬 予定	評価の実施日	2020年3月24日
敷地面積	3,918 m <sup>2</sup>	作成者	有限会社 源太設計
建築面積	1,796 m <sup>2</sup>	確認日	2020年3月24日
延床面積	3,250 m <sup>2</sup>	確認者	有限会社 源太設計



シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

**標準計算**

①参照値: 100%  
②建築物の取組み: 78%  
③上記+②以外の: 78%  
④上記+: 78%

目標: 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 2  
LR3 敷地外環境: 2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.5

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・相鉄大和駅から徒歩10分の市街化調整区域に、事務所と工場の複合用途の配送センターを鉄骨造・2階建てで計画した。		<b>その他</b> ・特に無し
<b>Q1 室内環境</b> ・取り入れ外気への配慮があり、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	<b>Q2 サービス性能</b> ・容室の天井高を高く確保することで、室内の快適性の向上に配慮している。 ・耐用年数の長い内装仕上げ材の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・特に無し
<b>LR1 エネルギー</b> ・外皮性能を高め、効率のよい空調機器・全面的なLED照明の導入など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。 ・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・高効率な設備機器の採用によりCO <sub>2</sub> の削減に配慮している。 ・光源は総合効率の高いものを採用している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される